

レポート一例

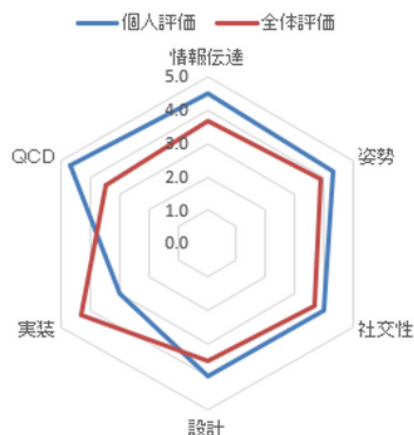
受講内容

会社名	XXX株式会社											
氏名	XX XX											
受講日時	2025年06月01日～2025年06月26日											
受講カリキュラム	MyBatisプログラミング、JavaScript入門、要件定義・分析入門、UML入門、Webアプリケーション設計入門、総合開発演習											
実力認定試験	1回目				2回目				3回目			
	Java	D	SQL	D	Java	D	SQL	C	Java	A	SQL	B
	正答率	28.5%	正答率	50.0%	正答率	42.8%	正答率	87.5%	正答率	100%	正答率	100%

◆ 講師診断結果

	個人評価	全体評価	個人評価内訳			
情報伝達	4.5	3.7	報道相	文章力		
			5	4		
姿勢	4.3	3.9	受講態度	積極性	向上心	責任感
			4	5	4	4
社交性	4.0	3.7	自己表現	協調性	会話力	
			4	4	4	
設計	4.0	3.5	仕様理解	データ設計		
			4	4		
実装	3.0	4.3	コーディング			
			3			
QCD	4.7	3.5	品質	納期	生産性	
			4	5	5	
総合評価	4.1	3.8				

個人評価



◆ 講師所感

常に集中している姿勢で講師の話の聞き、グループワークではわかりやすくて的確に解説しながら理解を深めていました。講師が確認した限りでは、説明の内容に誤りがなく的確でした。また、概念を俯瞰して全体を示したうえで、構造的に詳細に落とし込む解説の進め方をしており、情報整理の力があることがわかります。それから、他の受講者の認識が誤っていたり、演習で躓いている際には、本人が誤りに気付くためのヒントを与えたり、自身の意見という形で話をするなど、相手を否定しないように丁寧にコミュニケーションしていました。実際、丁寧に教えてもらったという他の受講者からの高評価が多いです。

一方、技術習得については若干課題があります。TRYCODE Javaのトレーニングでは、基礎の章でも問題を解かずにそのままになっていたりと、悪戦苦闘して1度だけ解いてそのままにしていたりします。また、TRYCODEを使った復習もほとんどしていません。実力認定試験の結果が思ったよりも悪かったのはそのためです。

面談では、幼少期から勉強が好きだったと話しており、実力認定試験の結果を見るまでは、学習がうまくいっていると思い込んでいたようです。技能習得の学習法を取り入れれば、着実に成果が出ますので、今後、新たな学び方に繋がるように作用します。